

## 観艦式に参加して

## カレッジ防衛モニター 西山 望

10月18日(日)、今年で28回目を迎える観艦式が相模湾で実施された。観艦式の歴史は古く、明治元年天皇陛下をお迎えし、大阪・天保山沖で実施された観兵式がはじまりだそう。早朝は生憎の曇り空であったが相模湾に着く頃には雲一つなく、まさに観艦式日和であった。

私は受閲艦艇部隊の旗艦であるあたこに乗艦した。空は澄み渡りどこまでも高く、海は輝きどこまでも広く、そして美しかった。その中を日本の護衛艦が一糸乱れぬ隊列を組んで航行する姿には圧倒された。また、諸外国では停泊している艦艇を観閲する停泊観閲式が一般的なようである。日本のような移動式の観艦式は珍しいそうだ。このような観艦式が実施されることが、日本の海上自衛隊の練度の高さを表しているのだと思う。今年の観艦式のキャッチフレーズは「海を守り、明日に繋ぐ」だそう。このキャッチフレーズの通り、日本の海上自衛隊にならこの海を任せられる、守ってくれると実感した一日だった。私は日本に海上自衛隊があることを何よりも誇り高く思う。

## 海老名・綾瀬父兄会習志野駐屯地研修

神奈川地本厚木募集案内所(所長 酒井1海尉)は、10月28日(水)、習志野駐屯地において海老名・綾瀬父兄会(会長 大槻氏以下20名)の部隊研修を支援した。この研修は、海老名・綾瀬父兄会の空挺団を見学したいという要望に基づき行われたものである。見学者は、駐屯地概要説明を受けた後空挺館と空挺団の訓練の様子を見学した。特に空挺団の訓練では、教官から厳しい指導を受け訓練に臨む隊員を目の当たりにすることができた。参加者からは「陸上自衛隊における最強の精鋭部隊を見学でき、より国防における安心感を得ることができた」という声が聞かれ、とても有意義な研修となった。

厚木募集案内所は、「今後も、このような部隊研修を支援し、協力団体に自衛隊への理解と関心を深めてもらえるよう努めていく」としている。



駐屯地広報による概要説明の様子



空挺団訓練施設の説明の様子

## 平成27年度自衛隊記念日に伴う感謝状贈呈

神奈川地方協力本部平塚地域事務所(所長 平1陸尉)は、11月1日(日)、平成27年度自衛隊記念日に伴う募集相談員の各感謝状贈呈を支援した。

永年のご支援・ご協力により今回、東部方面總監から贈呈されたのは、自衛隊平塚募集相談員会会長大貝氏、また海上幕僚長からは同じく副会長の三浦氏である。

贈呈された方からは「今後も自衛隊地域広報の住民による支援窓口役として、地域に根付いた協力活動を平塚地域事務所と密接に行い、防衛基盤の拡充に協力していきたい」と改めて決意の言葉が聞かれた。

平塚地域事務所は、「今後も、各協力者と密接に連携し、防衛基盤の拡充に努めていく」としている。



本部長(左)と大貝夫妻



海幕長(中央)と三浦夫妻



受賞者と記念撮影



三浦夫妻